

## 五戸総合病院での研修を終えて

平成 30 年 7 月 研修  
大阪市立大学医学部附属病院  
研修医 橋爪咲奈

### 青森研修を終えて

まず私が青森での研修を考えた理由は、自分を試してみたい気持ちがありました。大阪で生まれ、大阪で育った私にとって他県で1ヵ月もの期間を過ごすという経験がとても刺激になるのではないかと考えたからでした。

しかし、いざ自分で決めたものの、研修が始まる直前になると生活していけるのか、仕事をこなしていけるのか不安でいっぱいでした。

私は五戸総合病院で外科を選択させていただきました。将来乳腺内分泌外科を志しているにも関わらず、研修が始まった当初は外科の基本的な手技も、創傷処置の仕方も、そして外科手術での第二助手でさえもほとんど経験がありませんでした。しかし、そんな私に安藤先生や小林先生は初歩的なことから丁寧にご指導して下さい、糸結びや縫合、外来での創傷処置や簡単な手術の執刀等、たくさん経験させていただきました。

また、特別養護老人ホームの訪問診療も経験し、地域の医療を実感しました。特別養護老人ホームへの訪問は初めてであったため、訪問する前の私の中でのイメージは正直良いものではありませんでした。しかし、私が訪問した施設はいずれも明るく、自宅に住んでいるかのような設備が整っていました。そして、診療を通じて特別養護老人ホームの入居者にとって、医師が定期的に訪問することはとても大切であると感じました。

研修中一番苦労したことは外来や病棟患者様との会話で方言を理解することです。経験が浅い私にとって外来などでの問診もまだまだ未熟であるにも関わらず、さらに地域の言葉の壁にぶち当たったため、とても苦労しました。しかし、body languageを多用したり、注意深く聞き取ったり、看護師の方に通訳していただいたりと工夫し、努力しました。研修の後半には少しずつ聞き慣れてきていたように思います。

また、地域研修の特権として、青森（特に五戸）の郷土料理や大阪では食べられないような新鮮な海鮮を食したり、休日には東北観光を行ったりと東北の良さに触れられたような気がします。

青森での研修はもうこの先経験できないような貴重な経験となりました。地域の医療の現状を知り、地域での生活を知ることができました。研修が終わっ

た今、青森での研修を選択したことが正しかったと強く実感しています。これらの経験を、今後に役立てていきたいと思えます。

五戸総合病院は医者だけでなく、事務の方やコメディカルの方すべての人が明るく、常に挨拶の飛び交う素敵な職場でした。外来や病棟の患者様も含め地域愛にあふれる活気のある方々でした。

ここに安藤先生・小林先生はじめ上記の方々にお礼を申し上げたいと思えます。至らない点が多々あったかとは思いますが、優しく見守っていただき、ありがとうございました。